

## 令和5年度 社会福祉法人三恵会事業報告書

### 1. 事業概要

特別養護老人ホームを中核とし、ショートステイ、デイサービス、在宅介護支援センター、居宅介護支援事業所、養護老人ホーム等の社会福祉事業を行い、お年寄りの介護を通して、地域の方々の生活を支援しています。

### 2. 監査

令和5年6月7日（水） ひかわ会議室  
三恵会監事による令和4年度収支決算の監査

### 3. 理事会

第1回 令和5年6月12日（月） ひかわ会議室

1. 令和4年度 事業報告
2. 令和4年度 決算報告
3. 監事による監査報告
4. 次回評議員会の議題

第2回 令和5年6月25日（月） ひかわ会議室

1. 理事長及び業務執行理事の選任
2. 富士見園大規模修繕における一般競争入札公告内容の承認

第3回 令和5年7月27日（木） ひかわ会議室

1. 富士見園大規模修繕における一般競争入札参加資格の審査

第4回 令和5年8月25日（金） 富士見園会議室

1. 富士見園大規模修繕契約内容について

第5回 令和5年11月6日（月） ひかわ会議室

1. 令和5年度 上半期事業報告
2. 令和5年度 一次補正予算案
3. 次回評議員会の議題

第6回 令和6年1月12日（金） 省略決議

1. 富士見園 ナースコール設備施工業者の選定

第7回 令和5年3月4日（月） ひかわ会議室

1. 令和5年度 下半期事業報告
2. 令和5年度 二次補正予算案
3. 令和6年度 事業計画
4. 令和6年度 当初予算案
5. 令和6年度 経理規定、就業規則、給与規定変更

6. 令和6年度 役員賠償責任保険契約内容
7. 令和6年度 本部への資金移動の承認
8. 監査指導報告
9. 特別養護老人ホームひかわ大規模修繕計画
10. 次回評議員会議題

**4. 評議員会** 第1回 令和5年6月25日（日） ひかわ会議室

1. 令和4年度 事業報告
2. 令和4年度 決算報告
3. 監事による監査報告

第2回 令和5年11月26日（日） ひかわ会議室

1. 令和5年度 上半期事業報告
2. 令和5年度 一次補正予算案

第3回 令和5年3月24日（日） ひかわ会議室

1. 令和5年度 下半期事業報告
2. 令和5年度 二次補正予算案
3. 令和6年度 事業計画
4. 令和6年度 当初予算案
5. 令和6年度 経理規定、就業規則、給与規定変更
6. 令和6年度 役員賠償責任保険契約内容
7. 令和6年度 本部への資金移動の承認
8. 監査指導報告
9. 特別養護老人ホームひかわ大規模修繕計画

**5. 目標に対する自己評価 <三恵会>**

法人 目標①	高齢で普通の生活が出来なくなった人達に対して「あたりまえの生活が出来るように支援していく」と云う法人理念に則り、お年寄りとそのご家族を支援していく。
評価	法人理念が職員に浸透しており、入居者とその家族ともコミュニケーションが取れている。今後も引き続き法人理念に則り運営していく。

法人 目標②	養護老人ホーム富士見園の大規模修繕を実施する。
評価	令和5年8月28日から令和6年2月28日の期間で大規模修繕工事が実施した。物価高騰の影響もあり一部予算外での修繕実施も発生したが、計画通り実施し、令和6年2月27日にさいたま市の完了検査も終了した。

## 特別養護老人ホーム三恵苑事業報告

### 1. 事業概要

人生の最後を悔いなく、楽しく送って頂けるように。そして『あたり前な生活が出来るように』特養入居者 76 名と短期利用者 4 名のお年寄りの生活を支援しています。

### 2. 月間利用者延人数 (特養・短期合計)

令和 4年	4月	5月	6月	7月	8月	9月	合計
	2,273	2,354	2,279	2,313	2,338	2,220	
	10月	11月	12月	1月	2月	3月	27,030
	2,322	2,220	2,311	2,231	1,956	2,213	
令和 5年	4月	5月	6月	7月	8月	9月	合計
	2,077	2,108	2,148	2,289	2,229	2,183	
	10月	11月	12月	1月	2月	3月	26,652
	2,278	2,249	2,322	2,289	2,145	2,335	

### 3. 入居者の年齢構成

R6.3.31 時点

	60代以下	70代	80代	90代	100歳以上	平均	最高齢
男	2名	7名	8名	2名	0名	79.8歳	91歳
女	2名	12名	27名	12名	2名	84.2歳	103歳
計	4名	19名	35名	14名	2名	83.1歳	

### 4. 入居者の介護度別人数

R6.3.31 時点

	要介護1	要介護2	要介護3	要介護4	要介護5	平均介護度
令和4年	3名	1名	26名	26名	12名	3.63
令和5年	2名	3名	29名	23名	17名	3.68

### 5. 介護度別入退所者状況 (入所時点の介護度)

		要介護1	要介護2	要介護3	要介護4	要介護5	合計
令和 4年	入所	0名	1名	6名	3名	5名	15名
	退所	0名	1名	8名	5名	5名	19名
令和 5年	入所	0名	1名	12名	10名	11名	34名
	退所	1名	0名	4名	11名	12名	28名
令和5年度 看取り 14名 (前年度 10名)					退所者平均年齢 88.3歳		

6. 職員の状況 (特養・短期合計)

R6.3.31 時点

職名	人数		兼務の状況	資格
	常勤	非常勤		
施設長	1			社会福祉主事
事務員	1	1		社会福祉主事
事務員	1		○	包括支援センター兼務
相談員	1		○	介護支援専門員、介護福祉士
ケアマネ	1		○	介護支援専門員、社会福祉士
主任	1			介護福祉士
リーダー	2			介護福祉士
介護職	18	4		介護福祉士
介護職		1		介護職員実務者研修
介護職		1		介護職員初任者研修
介護職	1	1		資格なし
看護師	1	2		看護師
看護師	2			准看護師
栄養士	1			管理栄養士
介助員		2		
洗濯		2		
宿直員		3		
合計	31	17		【介護＋看護職員：入居者】 2.28：1

7. 目標に対する自己評価

特養 目標①	<ol style="list-style-type: none"> <li>1. 入居者一人ひとりの気持ちに寄り添い、相手に対する思いやりの気持ちを持って接することを心がける。</li> <li>2. 施設の老朽化に伴う修繕や機器の整備を実施し、職員が安心して働ける職場環境をつくっていく。</li> <li>3. 職員の業務軽減や入居者の生活をより充実させることを目的とし、積極的にICTを取り入れ活用していく。</li> </ol>
評価	<ol style="list-style-type: none"> <li>1. 入居者や職員間で“思いやり”を持った行動ができていた。ただ入居者に対する言葉遣いはまだまだ是正していく必要があると感じる場面が多い。</li> <li>2. 施設全体の大規模修繕計画を進めているが、すぐ入れ替えが必要なエアコン、厨房機器等は計画を待たず都度実施している。</li> <li>3. 介護ソフトを刷新したが現場で使用する職員は比較的スムーズに移行できた。ただ現在も細かい仕様による改善点が見受けられるため、今後更に使い勝手が良くなるよう改善していく。</li> </ol>
介護【1階】 目標	<ol style="list-style-type: none"> <li>1. 入居者が生きる喜びを感じる事が出来る場面を提供する事で、実りある生活が送れるよう努めていく。</li> <li>2. 職員は専門知識と技術向上を目指し、笑顔を忘れず明るい職場づくりに努める。</li> </ol>

評価	<ol style="list-style-type: none"> <li>1. 行事等にご家族が参加できる機会が戻った事、面会制限の緩和、外出・外泊が可能となった事で、気持ち的にも徐々にだがコロナ以前の状態となり充実した生活を取り戻していると感じる。</li> <li>2. 職員一人一人が入居者と接する際には、笑顔を意識しながら明るい雰囲気づくりに努めていた。今年度は、外部研修の機会が少なかったが、今後は機会を多く設けより一層技術・知識向上に努めていきたい。</li> </ol>
介護【2階】 目標	<ol style="list-style-type: none"> <li>1. 職員がチームとして利用者一人一人に合った対応ができる環境を整える。</li> <li>2. 新しい知識や技術を取り入れ、以前からの知識や技術と融合しながら利用者に有益になるように努める。</li> </ol>
評価	<ol style="list-style-type: none"> <li>1. 入退所者多く、状態把握に時間を要したが、利用者それぞれに合わせて各種センサー等介護用品を使用し対応出来ていた。</li> <li>2. 知識・技術面では外部研修に参加する機会が少なかったが、職員同士で創意工夫して利用者に対応していた。</li> </ol>
医務室 目標	<ol style="list-style-type: none"> <li>1. 入居者の健康管理、体調変化の早期発見に努め的確な判断対応ができるように努める。</li> <li>2. 看取りについては家族の不安や辛い心情に寄り添いこまめに連絡をとり、職員がチームとなり入居者が心穏やかに最期を迎えられるよう努める。</li> </ol>
評価	<ol style="list-style-type: none"> <li>1. 看護師全員での観察・報告・対応にて概ね早めの対応が出来ていた。</li> <li>2. まだコロナ禍でもあった為、本人と家族が十分に最後を過ごせたかは疑問が残る。職員も看取り対応には慣れてきたが、居室の準備や個々の気遣いが足りない点も見られた。</li> </ol>
厨房 目標	<ol style="list-style-type: none"> <li>1. ミールラウンドを積極的に行い個々に合ったお食事を提供できるように努める。</li> <li>2. 衛生教育を行い、安全な食事を提供する。</li> <li>3. 災害時に備えて、非常食対策マニュアルを整備する。</li> </ol>
評価	<ol style="list-style-type: none"> <li>1. ミールラウンドだけでなく、介護職員や看護師からの提案にも対応でき、各利用者に対応した食事提供ができた。今後も継続していく。</li> <li>2. 定期的に衛生教育を行い、最新の情報も共有、安全な食事提供ができた。</li> <li>3. 非常食対策マニュアルを引き続き整備を行っていくと共に、災害での事例も踏まえて、随時更新していく。</li> </ol>

## 養護老人ホーム富士見園事業報告

### 1. 事業概要

- I. 利用者の皆さんの自立と個人の尊重を重んじ、生きがいを持ち、安心して楽しい生活が出来るように支援します。
- II. 職場の将来展望において、職員全員が共通意識のもと、意識改革と自己研鑽を積み、働く喜びを共に感じられる職場にします。
- III. 一施設としての事業展開にととまらず、広く地域の福祉推進者としての視点を常に持ち行動します。

### 2. 月間利用者数

令和 4年	4月	5月	6月	7月	8月	9月	合計
	2,382	2,493	2,454	2,532	2,602	2,529	
	10月	11月	12月	1月	2月	3月	29,752
2,539	2,476	2,514	2,591	2,185	2,455		
令和 5年	4月	5月	6月	7月	8月	9月	合計
	2,407	2,483	2,518	2,618	2,696	2,582	
	10月	11月	12月	1月	2月	3月	31,230
	2,660	2,584	2,703	2,754	2,565	2,660	

### 3. 在園者の年齢構成

R6.3.31 時点

	60代以下	70代	80代	90代	100歳以上	平均	最高齢
男	3名	11名	17名	3名	1名	81.0歳	100歳
女	2名	12名	27名	8名	1名	82.7歳	100歳
計	5名	23名	44名	11名	2名	82.0歳	

### 4. 介護保険認定状況

R6.3.31 時点

	要支援 1	要支援 2	要介護 1	要介護 2	要介護 3	要介護 4	要介護 5	合計
令和 4年	8名	4名	18名	10名	6名	0名	1名	47名
令和 5年	8名	4名	20名	10名	5名	1名	1名	49名

## 5. 入退所者状況

	住宅事情	身体障害	精神障害	病弱	家庭不和	老齡単独	経済的理由	その他	計
令和4年	2名	0名	0名	0名	3名	1名	1名	1名	8名
						令和4年度退所者			12名
令和5年	3名	0名	1名	0名	6名	2名	3名	1名	16名
						令和5年度退所者			10名

## 6. 職員の状況

R6.3.31 時点

職名	人数		兼務の状況	資格
	常勤	非常勤		
施設長	1		○	社会福祉主事
事務員	2			
業務執行理事		1		社会福祉主事
ケアマネ	1	1		介護支援専門員、社会福祉士
主任生活相談員	1		○	介護福祉士
生活相談員	1		○	介護職員実務者研修・社会福祉主事
主任支援員	1		○	介護福祉士
サービス提供責任者	1			介護福祉士
支援員	8		○	介護福祉士
支援員	2		○	介護職員実務者研修
支援員	2	3	○	介護職員初任者研修
看護師	1			看護師
看護師		1		准看護師
栄養士	1			
調理員	3	3		調理師
用務員		2		
宿直員		2		
合計	25	13		

## 7. 目標に対する自己評価

富士見園 基本目標	<ol style="list-style-type: none"> <li>1. 利用者が自立した生活が継続できるよう個々にあった支援をしていく。また入居者が笑顔で生活できるよう思いやりをもって接する。</li> <li>2. 入居者・職員が安心・安全・快適に生活・業務が行えるように施設環境を整備していく。</li> <li>3. 施設内に感染症を持ち込まないよう感染予防対策を徹底する。</li> </ol>
評価	<ul style="list-style-type: none"> <li>・新しく入所された利用者には様々な問題があり、個々にあった支援を行い解決してきた。</li> <li>・大規模修繕が無事に終了したが、未だ修繕が必要な個所は多々あり、その都度、業者と相談しながら対応してきた。</li> <li>・感染予防対策を行っていたが、クラスターが発生してしまった。この経験を無駄にせず、今後も感染症対策を徹底していく。</li> </ul>
富士見園 全体目標	<ol style="list-style-type: none"> <li>1. 利用者のADL低下を防ぎ「できる喜び」を提供する。</li> <li>2. 日々の生活の中で、それぞれの出来る事が維持できるよう支援する。</li> <li>3. 心身共に安心して暮らせる環境作りを支援する。</li> </ol>
評価	<ul style="list-style-type: none"> <li>・認知症の進行や加齢から、できる事が少なくなったり、転倒から入院になるケースがあったが、概ね現状を維持し生活して頂けた。</li> <li>・ADLの低下が少しずつみられる中で、一人ひとりに寄り添い穏やかな時間を工夫し過ごせるようにできたと思う。</li> </ul>
医務 目標	<p>他職種の協力を得ながら問題に対する適切な対処を敏速に行い、安全で安心できる生活を支援する。また、感染防止対策として感染症状の早期発見と感染経路の遮断に取り組む。</p>
評価	<p>今年度はコロナだけではなくインフルエンザの感染者があった。昨年度よりは少ない人数であったが、今後も職員と協力していき、基本的対策、早期発見と対応は継続しておこなっていく。</p>
厨房 目標	<p>衛生管理を徹底し、喜んでいただける食事作りを目指す。</p>
評価	<p>衛生管理に関しては、二次汚染対策・手袋着脱のタイミング等により、認識を深める必要を感じている。次年度も知識を深め継続し衛生管理を行う。食事作りに関しては嗜好調査を行い、若干ではあるが前年度よりも美味しいとの回答数が増えた。次年度も皆さまの声に耳を傾け、一人でも多くの方に喜んで頂ける食事作りを目指す。</p>



## 特別養護老人ホームひかわ事業報告

### 1. 事業概要

入居者、一人ひとりに合った援助を心がけ、ひかわでよかったと、入居者とその家族に思ってもらえるよう努力します。また施設の全体行事として、あおぞら市・納涼大会・敬老会を行なっています。

### 2. 月間利用者数 (特養、短期合計)

令和 4年	4月	5月	6月	7月	8月	9月	合計
	3,223	3,245	3,233	3,347	3,346	3,240	
	10月	11月	12月	1月	2月	3月	39,234
3,275	3,155	3,380	3,379	3,057	3,354		
令和 5年	4月	5月	6月	7月	8月	9月	合計
	3,204	3,272	3,170	3,259	3,344	3,288	
	10月	11月	12月	1月	2月	3月	40,318
	3,527	3,402	3,529	3,475	3,246	3,422	

### 3. 入居者の年齢構成

R6.3.31 時点

	60代以下	70代	80代	90代	100歳以上	平均	最高齢
男	0名	3名	8名	14名	0名	88.0歳	99歳
女	1名	9名	30名	47名	1名	89.5歳	101歳
計	1名	12名	38名	61名	1名	89.2歳	

### 4. 入居者の介護度別人数

R6.3.31 時点

	要介護1	要介護2	要介護3	要介護4	要介護5	平均介護度
令和4年	9名	18名	41名	23名	13名	3.12
令和5年	13名	20名	44名	19名	14名	3.00

### 5. 介護度別入退所者状況 (入所時点の介護度)

		要介護1	要介護2	要介護3	要介護4	要介護5	合計
令和 4年	入所	1名	2名	8名	12名	2名	25名
	退所	1名	2名	8名	14名	8名	33名
令和 5年	入所	4名	3名	16名	7名	1名	31名
	退所	0名	2名	10名	6名	3名	21名
令和5年度 看取り6名(前年度12名)					退所者平均年齢92.8歳		

## 6. 職員の状況 (特養・短期合計)

R6.3.31 時点

職名	人数		兼務の状況	資格
	常勤	非常勤		
施設長	1		○	介護福祉士、社会福祉主事
事務長	1			社会福祉士、衛生管理者
事務員	1	1		簿記検定1級
相談員・ケアマネ	3		○	介護支援専門員、介護福祉士
相談員・ケアマネ	1		○	介護支援専門員、社会福祉士
ユニットリーダー	8			介護福祉士
ユニットリーダー	1			介護福祉士、介護支援専門員
ユニットリーダー	3			介護福祉士、ユニットリーダー研修
介護職	13	7		介護福祉士、介護支援専門員(1名)
介護職	12			介護福祉士
介護職	2			介護職員実務者研修
介護職	5	18		介護職員初任者研修
介護職	3	8		資格なし
看護師	2			看護師
看護師	3	1		准看護師
栄養士	1	1		管理栄養士
介助員		3	○	宿直兼務(2名)
宿直員		1		
合計	60	40		【介護+看護職員：入居者】 1.88：1

## 7. 目標に対する自己評価

特養 目標	内容
特養 目標	入居者への適切な対応を重要視して職員が各々の接遇方法を見直し、施設全体で良い雰囲気を作る。(第三者の視点を増やす)
評価	<ul style="list-style-type: none"> <li>• R5 年度よりユニット内で家族の面会が再開となり、第三者の目が増えることにより緊張感が生まれ、入居者への対応の改善が感じられる点もあった。しかし、家族がいない時間や職員一人の際の対応はあまり変化がなく根本的には変わっていないという印象がある。</li> <li>• 不適切な接遇は、人目のない環境で起こりやすいため今後も出来るだけ多くの人の目で見てもらえるような環境づくりが大切。今後さらに改善していくためにも以下3点の導入を検討する。               <ol style="list-style-type: none"> <li>① ユニット内への防犯カメラの設置 常に誰かに見られているという環境を作ることによって日常的に適切な接遇をできるようにする。また事故発生時の振り返りができる点、自分達の介護を客観的に見ることが出来る点でも利点があると思われる。</li> <li>② 職員評価の見える化 良い接遇が出来ている職員と出来ていない職員の評価などが見える化することで職員のモチベーションアップに繋げる。</li> <li>③ 各階担当の相談員配置転換 担当相談員の交代を実施することで、新しい視点からユニットの違和感に気づくことに期待する。ただし人員不足の影響も懸念されるため、こちらの問題解決にも努めていく。</li> </ol> </li> </ul>

	<ul style="list-style-type: none"> <li>• R6 年度も入居者への接遇を最優先課題とする必要がある。接遇を改善するためには、職員一人一人が主体的に日々自分たちのケアについて考えて行くことが必要である。入居者の気持ちを考え「入居者がひかわを選んでよかったと思ってもらえるようなケア」を実践してほしいと思う。</li> </ul>
<p>医務室 目標</p>	<ol style="list-style-type: none"> <li>1. 穏やかな生活支援看護 <ul style="list-style-type: none"> <li>① 個々の既往、現病をふまえた看護の質の向上に努める</li> <li>② 生活面を重視した医療の提供を実施する</li> </ul> </li> <li>2. 情報共有、申し送りの徹底 <ul style="list-style-type: none"> <li>① 普段の申し送り以外でも情報の収集、共有に努める</li> <li>② 書面だけで申し送りにならないよう声かけを行う</li> </ul> </li> </ol>
<p>評価</p>	<ol style="list-style-type: none"> <li>1. ①少しずつではあるが向上できた <ul style="list-style-type: none"> <li>②通院、内服変更等 考えながら提供出来た</li> </ul> </li> <li>2. ①個々での共有は出来た <ul style="list-style-type: none"> <li>②徹底出来ず、内容変更して来年度新たに目標を作成</li> </ul> </li> </ol>
<p>厨房 目標 (食事 サービス)</p>	<ol style="list-style-type: none"> <li>1. 食材や調理法を工夫しキザミ食の入居者でも、可能であれば形のまま提供できるよう努力する。</li> <li>2. 食中毒防止の為、厨房内清掃の徹底と従業員の衛生教育及び健康管理に努める。</li> <li>3. 入居者の嗜好を把握し、定期的な献立の見直しや新メニューを取り入れることにより、喫食量の向上と献立のマナー化防止を目指す。</li> <li>4. イベントメニュー、郷土料理は毎年同じメニューな為、評判を確認し内容を変更していく。</li> <li>5. 入居者に喜ばれる食事を提供する。食事の提供間違い、盛付の分量など指摘される事の無いよう安全な食事提供に努める。</li> </ol>
<p>評価</p>	<ol style="list-style-type: none"> <li>1. アジやブリなど魚料理が固いと指摘を受けていたが、調理法を工夫することで食べやすくなったとの評価をいただいた。今後も調理法などを工夫し食事の満足度を上げていくよう努力する。</li> <li>2. 食中毒防止の為、厨房内の清掃を日常的に行うことで事故なく 1 年間過ごせた。今後もより細かい部分の清掃を定期的実施していく。従業員一同、衛生管理と健康管理に努める。</li> <li>3. 本社の献立を取り入れることで新しいメニューが増え、マナー化は防げたと思う。</li> <li>4. 他地域の郷土料理も組み込んでいきたい。</li> <li>5. 食事の提供間違いや盛付の分量に関する指摘は減ったように思うが、キザミ食の中に塊が入っている等の指摘が増えた。対策法を決めて対応しているが、そのような指摘が複数回出てしまっている。再度従業員に指導し、再発防止に努める。</li> </ol>
<p>厨房 目標 (栄養 管理)</p>	<ol style="list-style-type: none"> <li>1. 入居者個々の健康状態に合わせた栄養計画の作成と食事の提供を行う。</li> <li>2. 安全で安心できる食事を基本とし、食中毒および誤提供による事故を起こさない。</li> </ol>

	<ol style="list-style-type: none"> <li>3. より良い食環境を提供できるよう、他職種との連携を図り、日常的な情報交換・共有の徹底に努める。入居者個人の食の意向をつかみ、食事量減退時や看取開始時に活かし、入居者やご家族の想いに寄り添ったケアを実現していく。</li> <li>4. ユニットの特性を生かし、ユニット単位の料理・菓子作りの企画と協力を行う。</li> <li>5. 嚥下調整食分類 2021 に基づき、入居者の状態にあった適切な食事形態での提供に努める。また研修などに参加し、他施設との嚥下調整食に関しての共通認識・情報共有を進める。</li> <li>6. 災害時等の非常事態に備え、食事の提供が止まらないよう、食料備蓄や対応方法を検討し整理する。</li> </ol>
評価	<ol style="list-style-type: none"> <li>1. 他職種との情報共有、ラウンドでの食事の様子観察等で個々の栄養状態や状態変化を把握し、個々に合わせた栄養計画を立てることができた。入居者とも積極的にコミュニケーションをとり、食事に対しての不満や要望を聞き取ることで普段の食事提供に反映できるように努めた。</li> <li>2. 食中毒や誤食による事故は起きなかった。今後も安全で安心できる食事提供ができる様、安全衛生管理を徹底する。</li> <li>3. 日々のミールラウンドでの食事の様子観察や体重測定の実施により状態変化を早期に把握することができた。他職種と連携し、栄養業務に活かすことができた。</li> <li>4. 調理レクリエーションに関しては、実施するユニットに偏りが見られたが、多くの入居者に出来立ての食事やおやつを楽しんでいただけた。実際にレクリエーションでは食事の進みが違うとの話も聞かれ、今後もできれば継続していきたい。入居者の食形態に差があるため（半数は常食で、半数はミキサー食）、実施を躊躇しているユニットには全体でも楽しめる内容を提案していきたい。</li> <li>5. 研修には参加できなかったが、他施設との情報交換は継続していく。</li> <li>6. 非常食のマニュアルは作成できなかった。令和6年度は取り組みたい。</li> </ol>
A-1 ユニット 目標	<ol style="list-style-type: none"> <li>1. 入居者の行動に目を配り、気持ちを汲み取りながら必要とされていることを考え、ストレスを軽減し事故防止につなげる。</li> <li>2. 職員の表情で不安にさせないように、笑顔の対応で安心や楽しみを増やせるユニットを目指す。</li> </ol>
評価	<ol style="list-style-type: none"> <li>1. 入居者の行動に目を配ることができたという意見が多かった。ただ行動を起こす理由の追及の際、気持ちを汲み取ることができなかつたり、時間をうまく使えず気を紛らわせることで精一杯となつたり、ストレスを軽減させるまでには至らなかつたと思われる。</li> <li>2. 不安にさせないように努力はできていたが、食事介助などで時間を多く使ってしまふことが多く、作業に追われレクリエーションなどで楽しみを増やすことができなかった。</li> </ol>

A-2 ユニット 目標	年長者を敬う対応、言葉遣いにはどのようなものがあるのかを各自で考え、それを実践していくことで入居者との信頼関係がづけるよう努めていく。
評価	言葉遣い等を意識して接することができていたが、入居者によっては大きな声になってしまうことや、友達感覚な接し方になってしまった。
A-3 ユニット 目標	<ol style="list-style-type: none"> <li>1. 体調の変化にすぐに気付けるよう日々観察を怠らない。</li> <li>2. 認知症や耳の聴こえづらい方にもわかりやすい言葉選びや、誰に対しても不快に感じない言葉かけを行う。</li> </ol>
評価	<ol style="list-style-type: none"> <li>1. どの時間帯の職員も、身体の確認をする時間がとれ、変化に気付けるよう全員が心がけることができた。反省点として、パルスオキシメーターが各階に1つしかないことで、急変時の対応に遅れが生じた。</li> <li>2. 声が大きくなるため、ゆっくり話し柔らかい表情を心がけた。反省点として、声が大きくなってしまい何度も説明することで怒っているように聞こえてしまった。</li> </ol>
A-4 ユニット 目標	<ol style="list-style-type: none"> <li>1. 常に入居者に正しい言葉遣い、態度、表情で対応できているかを意識していく。『思いやり』の精神を忘れない。それにより引き出せた要望や思いに対応し、入居者に楽しく生活していただくことで雰囲気の良いユニット作りを目指していく。</li> <li>2. ユニットだけでなく他部署とも連携、話し合いを深め、より良いユニット作りを目指していく。</li> </ol>
評価	<ol style="list-style-type: none"> <li>1. 正しい言葉使い、態度、表情で入居者に対応することを意識して接することができた。ただ1人勤務や余裕のない時には入居者への説明が不十分だったり、語気が強くなってしまったり等適切な対応ができないことがあった。業務を優先してしまうことでレクリエーションの時間が少ないこともあったため、これは次年度の課題にしていきたい。</li> <li>2. ユニット内で話し合いの場を持つことはできたが、全員の意見を集めること、まとめることが難しく時間がかかってしまうこともあった。次年度はユニットのLINEWORKSを積極的に活用していきたいと思う。</li> </ol>
B-1 ユニット 目標	<ol style="list-style-type: none"> <li>1. ペアユニット含む職員間、他職種との情報共有や申し送りのミスをなくす。</li> <li>2. 人目につかない部分を意識しながら、環境整備（整理整頓・消毒・清潔保持）を行っていく事で「意識する」を癖付け、入居者へのより良いケアに繋げていく。</li> <li>3. 外出、外食ができない分、一層食事の楽しみを施設内で感じて頂く為、調理レクの回数を増やし楽しんでもらう。</li> </ol>
評価	<ol style="list-style-type: none"> <li>1. ペアユニット間の情報共有はLINEWORKSを活用したが、うまく伝わっていない事もあり個々でメモを取る事を再度認識しなければならない。</li> <li>2. かけ布団の整頓、カーテンの紐、タンス内の整理等は出来ていた。</li> <li>3. 入居者のリクエストを聞きながら、月1回の昼食レクやおやつレクを実施し、入居者に楽しみの提供はできていた。</li> </ol>

B-2 ユニット 目標	<ol style="list-style-type: none"> <li>1. 各職員は入居者目線に立ち戻り、当たり前前の生活を模索し不安や不満感のない日常が過ごせるように福祉サービス者として再考し質の向上を図っていく。</li> <li>2. 入居者の持っている時間を大切に、日々の接し方やレクリエーション等で笑顔や安心感、楽しみを引き出しQOLの向上を図っていく。</li> <li>3. 職員間の業務共有をさらに強くし、入居者の望む事に対応できる時間を増やす為に環境を再構築して、支援に当たれるユニットを作っていく。</li> </ol>
評価	<ol style="list-style-type: none"> <li>1. 日々の業務量に追われ質の向上は図れず、現状維持になってしまったが、個別の入居者には不満や不安感を取り除く対応ができていた。</li> <li>2. 個別に対応できる内容を模索し提供出来ていたが、全体的に余裕がなく業務優先となってしまう多くの笑顔や楽しみを引き出せなかった。</li> <li>3. 日によりバラツキはあったが業務共有を実施することで入居者の要望に対応する事が出来た。しかし業務に追われ入居者に費やす時間にはあまり使えなかった。</li> </ol>
B-3 ユニット 目標	<ol style="list-style-type: none"> <li>1. 笑顔での挨拶、丁寧な言葉遣いの実施、接遇を意識し入居者との信頼関係の構築に取り組む。</li> <li>2. 職員間の情報共有や日々の介護業務において職員同士の業務確認・指摘し合える体制づくりを通して介護の質の向上に取り組む。</li> <li>3. 担当入居者への関りや担当業務への+αの実践、意識してより良いユニットケアに取り組む。</li> <li>4. 毎月行事の実施、季節感のある壁紙作成・掲示、リビングや居室空間の過ごしやすい環境作りに取り組む。</li> </ol>
評価	<ol style="list-style-type: none"> <li>1. 接遇を意識したが、直接介助に追われ言葉遣いやスピーチロックにあてはまる場面もみられた。次年度の課題とする。</li> <li>2. 他職種への引継ぎに不十分な時がありユニット会議にて情報共有や確認作業が出来るように取り組めた。</li> <li>3. 衣類等の管理が難しい方も衣類整理をして自身で行えるようにQOLの維持に繋げた。また身体状況に合わせてベッドの位置の変更を行えた。日々の手洗いでは食事前のウェットティッシュを使用し業務効率と感染予防に努めた。また適宜ユニット費を使用しその方に合った楽しみとしてお菓子を提供した。</li> <li>4. 聞き取りを行い、調理・食事計画を実施できた。壁紙制作が広報誌に取り挙げられ、入居者の意欲向上に繋がった。制作については、少しでも季節を感じて頂き制作のパーツ位置・向き等を考える事・指を動かすことを心掛けた。出来上がった作品掲示を通してたくさんの会話の場となった。</li> </ol>
B-4 ユニット 目標	<p>入居者の事を理解し、丁寧な声掛け、丁寧な介助を心がける</p>

評価	丁寧な声掛けや介助に努めたが、職員の一人勤務や入居者の同じ訴えの繰り返して、職員の疲労がたまり、入居者に対して感情を込めない声掛けになってしまったり、表情や口調が強くなってしまいう事があった。また、その場面にあった声量で話しかける事も出来ない事があった。事故を防ぐ為の介助方法については、ユニット会議の活用、職員同士の話し合いにより実施する事ができた。今後は職員の介助や声の掛け方を誰かがみていると思いながら、入居者やご家族が不快に思わない支援を行っていきたい。
C-1 ユニット 目標	<ol style="list-style-type: none"> <li>1. 定期的にユニット会議を開き入居者の情報を共有し対応を行う</li> <li>2. 居室担当者が適時 24H シート更新を行う</li> <li>3. 外出レクや外食レクなど、気分転換が行えるような行事を計画する</li> <li>4. 入居者やスタッフ同士でのコミュニケーションを図る</li> </ol>
評価	<ol style="list-style-type: none"> <li>1. ユニット会議ができなかったので次年度も継続する</li> <li>2. 適宜行うことができた</li> <li>3. 毎月のレクリエーションを行い気分転換できた</li> <li>4. 全体的に声掛けやコミュニケーションは図れた</li> </ol>
C-2 ユニット 目標	<ol style="list-style-type: none"> <li>1. コミュニケーションを通じて入居者の要望を汲み取り、個別支援ができるように努める。</li> <li>2. 健康管理を行い、笑顔ある日常が送れるように支援する。</li> </ol>
評価	<ol style="list-style-type: none"> <li>1. コミュニケーションからレクリエーションに反映させることで、要望に応えることができていた。その反面業務優先にすることもあり、対応が遅れる場面もみられた。</li> <li>2. 1日2回の検温を始め日頃の状態観察を行い、それを情報共有することで健康管理ができていた。</li> </ol>
C-3 ユニット 目標	<ol style="list-style-type: none"> <li>1. 看護師・相談員と連携を取り、しっかりとしたユニットケアを実践する</li> <li>2. 季節感のあるユニットにし、バリエーションのあるレクを提供する</li> <li>3. 24時間シートを活用し、ユニットケアに反映する</li> </ol>
評価	<ol style="list-style-type: none"> <li>1. 入居者が看取り対応となった際、相談員、看護師と連携を密に取ることでより良い最期を迎えられるかを話し合い対応できた。また日常的にも体調変化を看護師と話し合い適宜、入居者に合わせた対応を行うことができた。</li> <li>2. 外出レクが出来ない中、季節ごとにユニットの装飾を替え季節感を出すことに気を付けた。食堂は多くの方の目に留まり変化を感じることができたが、居室内は写真を飾ることが精一杯で、居室で過ごすことが多い方にとっては殺風景になってしまった。レクリエーションはいろいろ考えたが、食事レクリエーションが中心で変化に乏しかった。次年度の課題。</li> <li>3. 24H シートの更新が遅れがち、話し合う機会が少なく、上手くユニットケアに反映することができなかった。各職員ともっと連携を取り、情報共有、内容を周知し個別ケアに活かしたい。</li> </ol>

	<p>●処遇について</p> <p>ユニットの面会が再開になったこともあり、各職員気を付けて入居者対応を行っていると感じられる。しかし業務に追われイライラしてしまう場面もあり、今後はもっと気を付けなければという面も見受けられる。各職員の技術の向上、意識の向上が必要と思われ、次年度はユニット会議等で話し合い、意識の向上に努めたい。</p>
C-4 ユニット 目標	<ol style="list-style-type: none"> <li>1. 24Hシートの作成と更新を随時行っていき、その情報をユニット内に通達し情報を共有する。</li> <li>2. 入居者への適切な対応を見出しユニットケアへと繋げていく。</li> <li>3. レクの早期計画を立て、レクを実施していく。</li> </ol>
評価	<ol style="list-style-type: none"> <li>1. 24Hシートの作成・更新はしっかりと行えていなかった。連絡ノートから新しく申し送り表を作成し、連絡事項などは見やすくはなったが情報共有はあまりできていなかった。</li> <li>2. 入居者の適切な対応はある程度行えていた部分と職員不足によりゆとりがないときはできていなかった。</li> <li>3. レクリエーションに関しては計画段階で遅れてしまい実施できた回数は少なかった。</li> </ol>



# 通所介護事業報告書

## 1. 事業概要

特養併設型の通所介護事業所として、要介護・要支援者を対象に通常型のデイサービスで日帰り介護をし、在宅での生活が維持できるよう支援しています。また、総合事業「交流型」通所サービス「運動型」通所サービスを行い介護予防事業の一端を行っています。

## 2. 月間利用者数

令和4年	4月	5月	6月	7月	8月	9月	合計
	427	452	436	438	426	474	
	10月	11月	12月	1月	2月	3月	5,116
	465	459	430	321	364	424	
令和5年	4月	5月	6月	7月	8月	9月	合計
	385	381	329	368	366	361	
	10月	11月	12月	1月	2月	3月	4,538
	396	395	399	357	375	426	

## 3. 介護度別利用者数

R6.3.31 時点

	事業対象	要支援 1・2	要介護 1	要介護 2	要介護 3	要介護 4	要介護 5	合計
令和4年	10名	9名	16名	9名	7名	4名	4名	59名
令和5年	6名	12名	16名	12名	7名	5名	4名	62名

## 4. 活動内容

- 利用者のお誕生日にお花と写真のプレゼント
- 新年会、節分、ひな祭り、お花見、夏祭り、クリスマス会などの季節行事
- 敬老の日前後に、「感謝祭」を開催
- さつま芋・野菜・花等の園芸活動 小規模にて開催
- 各種舞踊やマジック、朗読会などのボランティアをお招き 中止

## 5. 職員の状況

R6.3.31 時点

職名	人数		兼務の 状況	資格
	常勤	非常勤		
(管理者) 相談員	1		○	介護支援専門員、社会福祉士
相談員	1			介護支援専門員、介護福祉士
介護職	1	4		介護福祉士
		1		初任者研修
看護師	1	1		看護師
看護師		1		准看護師
運転手		3		普通自
合計	4	10		

## 6. 目標に対する自己評価

通所 目標①	感染症対策を徹底しつつ、利用者やその家族が安心して利用してもらえるよう、環境作りと雰囲気作りに努めていく
評価	テーブル上のパーティション、座席の間隔を空けた配置、トイレの定時消毒、昼食・おやつ前の手洗いと消毒、等対策を継続。9月に新型コロナウイルス陽性者が発生。
通所 目標②	デイサービスでの取り組みを利用者家族やケアマネージャーにPRしていく
評価	パンフレットやPR素材を用い、外部居宅への訪問を実施した。令和6年3月頃より実績が回復し順調に推移している。

# 在宅介護支援センター事業報告

## 1. 事業概要

在宅で生活しているお年寄りが、日常生活を営むために必要な保健医療サービス又は福祉サービスの適切な利用をすることが出来るよう計画を作成すると共に、市からの事業受託にて独居高齢者等の実態把握や介護サービス啓発のための事業などを行っています。

## 2. 月間利用者延数 ※要介護＋要支援（総合事業利用者含む）

令和 4年	4月	5月	6月	7月	8月	9月	合 計
	270	274	281	277	278	281	
	10月	11月	12月	1月	2月	3月	3,404
	286	286	289	285	287	284	
令和 5年	4月	5月	6月	7月	8月	9月	合 計
	282	286	288	282	283	288	
	10月	11月	12月	1月	2月	3月	3,381
	287	282	284	278	272	269	

## 3. 介護度別利用者数

R6.3.31 時点

	要支援 1	要支援 2	要介護 1	要介護 2	要介護 3	要介護 4	要介護 5	合計
令和 4年	33名	41名	89名	68名	30名	22名	8名	291名
令和 5年	27名	35名	79名	71名	28名	22名	7名	269名

## 4. 活動内容

- 県立大学IP演習参画 1チーム
- ケアマネジャー合格者実務研修実習生受け入れ 1名
- 出張無料相談会（西楽園、湯けむり横丁） 7回
- 高齢者サロン（自治会勉強会）でのお手伝い 9回
- 指扇地区社協学習推進部会出席 10回
- 指扇地区社協高齢者部会出席 10回
- 指扇地区社協理事会出席 1回
- 一人暮らし高齢者世帯見守り訪問（随時）
- 民生委員・ケアマネ交流会 2回
- ふれあい会食で相談窓口の設置（指扇及び内野地区社協） 10回
- 西区包括在支連絡調整会議 7回

- 劇団にしく参加（打ち合わせ） 6回
- 西区地域生活支援拠点ネットワークづくり会議出席（6月）
- オレンジカフェ（包括三恵苑主催）出席 1回
- 西区民生児童委員協議会高齢者福祉部会勉強会講師 1回
- 指扇中学校福祉体験会 2回
- スマートフォン教室 2回

## 5. 職員の状況

R6.3.31 時点

職名	人数		兼務の 状況	資格
	常勤	非常勤		
（管理者）センター長	1		○	主任介護支援専門員
介護支援専門員	4	1		主任介護支援専門員
合計	5	1		

## 6. 目標に対する自己評価

支援センター 目標①	国保連及び法人使用の業務ソフト切り替えにより、給付管理と伝送の省力化及びケアプラン内容の精度向上を施す。
評価	給付管理及び給付費データ作成と伝送がスムーズにできるまで半年以上を要した。ほぼ1年かけてマスターに至るが省力化とは言えず。ケアマネジメント業務全般の省力化と共に、居宅介護支援（ケアマネ）部門のみ業務ソフトの検討要と省みる。
支援センター 目標②	福祉機関としての地域貢献を継続し、事業所の存在を地域に定着させる。
評価	5月からの感染症扱い5類移行に伴って順次各地域活動が再開され、以前からの活動へ積極的に参加した。また、スマホ教室その他依頼されたこと以外の新たな活動も始動させ、地域への存在アピールができた。

## 地域包括支援センター事業報告

### 1. 事業概要（実績）

	地域活動	ネットワーク構築	認知症サポーター養成講座、その他
R5年 4月	<ul style="list-style-type: none"> <li>・内野地区社協会食 （内野公民館）</li> <li>・指扇地区社協会食 （指扇公民館）</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・内野地区民生児童委員連絡協議会</li> </ul>	
5月	<ul style="list-style-type: none"> <li>・けやき台コーヒーサロン （大宮けやき台自治会館）</li> <li>・すみれ体操サークル （内野公民館）</li> <li>・内野本郷きらめきサロン （内野本郷自治会館）</li> <li>・いきいき西大宮 （ラヴィーレ西大宮）</li> <li>・のびのびサロン （宮前一丁目自治会館）</li> <li>・三橋6丁目いきいき体操クラブ （三橋6丁目自治会館）</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・地域支援会議</li> <li>・指扇地区民生児童委員連絡協議会</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・シニアのためのスマホ教室 （在支共催）</li> </ul>
6月	<ul style="list-style-type: none"> <li>・サロンおあしす （五味貝戸自治会館）</li> <li>・中釘元気クラブ （中釘自治会館）</li> <li>・内野地区社協会食 （内野公民館）</li> <li>・にこにこサロン （下郷自治会館）</li> <li>・弥生会 （中釘自治会館）</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・指扇地区社協サロン交流会</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・子ども認知症サポーター養成講座</li> </ul>
7月	<ul style="list-style-type: none"> <li>・指扇地区社協会食 （指扇公民館）</li> <li>・ひまわりクラブ （内野公民館）</li> </ul>		
8月	<ul style="list-style-type: none"> <li>・わかば会 （内野公民館）</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・指扇地区民生委員</li> <li>・ケアマネ交流会</li> </ul>	
9月	<ul style="list-style-type: none"> <li>・オーベルいきいきサロン</li> <li>・指扇地区社協会食 （指扇公民館）</li> </ul>		<ul style="list-style-type: none"> <li>・西区老連グラウンドゴルフ大会</li> </ul>
10月	<ul style="list-style-type: none"> <li>・寿会 （宮前一丁目自治会館）</li> <li>・指扇地区社協会食 （指扇公民館）</li> <li>・看護師協会主催ラジオ体操</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・地域支援会議</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・さいたま市老連グラウンドゴルフ大会</li> </ul>
11月	<ul style="list-style-type: none"> <li>・指扇地区社協会食 （指扇公民館）</li> <li>・中釘元気クラブ （中釘自治会館）</li> </ul>		<ul style="list-style-type: none"> <li>・西区ふれあい祭り</li> </ul>

	地域活動	ネットワーク構築	認知症サポーター養成講座、その他
12月	<ul style="list-style-type: none"> <li>中釘元気クラブ (中釘自治会館)</li> </ul>		<ul style="list-style-type: none"> <li>西区シルバーライフ向上事業 (西区役所)</li> <li>いきいきサポーターフォローアップ研修</li> </ul>
R6年 1月	<ul style="list-style-type: none"> <li>にこにこサロン (下郷自治会館)</li> <li>内野地区社協会食 (内野公民館)</li> </ul>		<ul style="list-style-type: none"> <li>いきいきサポーターフォローアップ研修</li> <li>自主グループ交流会</li> <li>認知症サポーター養成講座 (指扇中学校)</li> <li>認知症サポーター養成講座 (内野地区自治会)</li> </ul>
2月	<ul style="list-style-type: none"> <li>オーベルいきいきサロン</li> <li>サロンえびすや</li> <li>指扇地区社協会食 (指扇公民館)</li> </ul>		<ul style="list-style-type: none"> <li>指扇中学校体験授業</li> <li>シニアのためのスマホ教室 (在支共催)</li> </ul>
3月		<ul style="list-style-type: none"> <li>地域支援会議</li> <li>指扇地区民生児童委員連絡協議会</li> <li>内野地区民生児童委員連絡協議会</li> <li>指扇地区民生委員</li> <li>ケアマネ交流会</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>認知症サポーター養成講座 (翔裕館)</li> </ul>

## 2. 月間利用者数

令和4年	4月	5月	6月	7月	8月	9月	合計
	497	496	504	503	488	510	
	10月	11月	12月	1月	2月	3月	6,158
令和5年	522	531	526	526	525	530	合計
	4月	5月	6月	7月	8月	9月	
	527	518	518	517	524	542	6,345
	10月	11月	12月	1月	2月	3月	
552	540	534	533	518	522		

### 3. 職員の状況

R6.3.31 時点

職名	人数		兼務の状況	資格
	常勤	非常勤		
(管理者) 社会福祉士	1		○	社会福祉士
社会福祉士	2			社会福祉士 介護支援専門員
介護支援専門員	3			主任介護支援専門員 介護福祉士
保健師・看護師	2	1		看護師 介護支援専門員
生活支援 コーディネーター		1		
事務員	1		○	
合計	9	2		

### 4. 目標に対する自己評価

包括 目標①	三恵苑包括はさいたま市内の他包括と比べプラン数が多いため、他圏域の情報を収集し原因とそれに対する課題を抽出する。
評価	他圏域包括へ情報収集を行った結果、他圏域と比べ身体を動かす人が少なく、身体を動かす公園も少ないことが分かった。また通いの場に継続的に参加している人の割合も少ない。このことから身体を動かす機会が少なく、筋力が低下することで介護保険の認定に至ることが予想される。特に要介護者の認定者数と比べ要支援者が多いこともあり、IADL が低下してきた初期段階に認定を受ける人が多いと思われる。今後は歩いて通える通いの場を増やせるよう地域に働きかけていきたい。
包括 目標②	相談の多い地域を把握するため、相談対象者の地域を整理し集計する。
評価	令和5年度の相談を集計し自治会ごとに整理した。相談の対象者が多い地域は五味貝戸、内野本郷、三橋6丁目が多かった。この3地区以外においても、相談の多かった地域はその他の地域でもサロン活動が盛んであり、地域包括の周知も進んでいると思われる。また相談の少ない地域は集合住宅が多い傾向がある。相談は少なかったもののケースが重症化してから連絡が入り、対応に苦慮することが多い傾向があることも分かった。今後は相談が少なかった地域に対し、包括の活動が周知できるようアプローチしていきたい。